

まちづくりゲームで ・感じたこと ・気付いたこと ・学んだこと ・大事にしたいキーワード などを書き留めて「まとめ」にしましょう (○…一般、◎…学生)	
○	・知らないことを知る。 ・各世代の視点、わからないこと、それぞれが大切にしていること、対話で引き出された
◎	・「人」のつながり、「人の動き」が重要(キーワード) ・各世代からの視点を大切にしなければならないのでは
○	・検討してみると止めてもいい事業の選択は難しい ・人を大事に経済活性化 方法はあるようだ
○	・どんな街にしたいかという点で、「住んでいる市民」の生活を安定したよりよいものにしていきたいということをグループの皆で共有できよかった ・観光を重視することと合わせて、市民の力で市の経済を活性化させるための事業を市には後押しして欲しい ・人づくり、安心して住み続けられる酒田市であってほしい
○	・自分が担当していた部門以外のことも考えながらなので、総合的な視点が必要になると思った ・たった5人のグループでも意見をまとめるのが難しい
◎	・市が進めていく方向性の重要性が分かった ・まちづくりを進めていくに当たって、どのような問題があるのか、市のメリットは何かなど、具体案を市民に示していくのが大切だと思った ・酒田の良いところを市外・県外にも発信していきたい
○	・酒田市の発展のために良い案だと思います
○	・納得、合意して決めたことは後から振り返ってみても正しい選択だったと思える(たとえ酷な選択でも) ・何を切るかよりも何を残したいかが大切
○	・自分の考え・意見とは多数違う人はたくさんいる ・あちらを立てればこちらが立たず。平等が一番難しい
◎	・まちづくりなど、今後の市を考えるうえで、どのような市にしたいかビジョンがはっきりしていないと難しいものだと思います ・酒田のいいところを発見できて良かったです
◎	・限りある予算の中で様々な事業を行うのは大変だと思った ・現在のまちの課題をよく考えて、事業に優先順位をつけなければならないのが難しかった ・自分と違う世代の人の暮らしに必要なことを考えられた ・どの事業も大事!
○	・お金に限りがあるので選択は本当に大変 ・今現在の状況を守るのか新しいことを始めるのか難しい ・何を優先させるべきか市民に現状を知ってもらい一緒に考える、一緒に気付く
○	・生半可には事業は切れない、説明できないので ・いろんな立場の声を聞く必要がある(中高生、三町地域) ・キーワード:話し合いが大事
○	・市を運営するために何かを削らねばならないという選択を強いられ、新しい事業の要望に応えることの難しさを知った ・やはり福祉や支援手当ては削りたくないと思った
◎	・限られた財源の中で残していく事業や新しく事業をするか考えるのは難しいと思った ・また、年代の違う人と話す機会はなかなか無いので良いと思った
◎	・まちづくりでは、現状を維持しつつ、少しずつ確実に変えていくことが必要だと思った ・安全を大事にして必要な事業を選んでいくことが大切だと思った ・1つ事業を廃止する場合は、別の事業でカバーするか、それに合う施策が必要だと思った
○	・市民の皆さんも自分たちでできることは自分でという意識がある ・借金はできるだけしないで工夫をしようという考えは大事だと思った ・意識を浸透させることが大事で時間をかけて丁寧にする必要があると思った
○	・まちづくりに必要な予算を考えるきっかけ ・夢を語ることはあったが、現在行われている事業の改変というリアルなやり方は、いい経験であった。
○	・キーワード「イメージ」 ・まちづくりは「将来の姿」を強くイメージする、行動する ・また、今後は日本の中だけでなく、世界に目を向ける必要がある
◎	・何か新しい事業をするには、何かをやめなければならないということがわかった ・市民は何を望んでいるか考える必要があると思った
○	・さけ田のために大事なことはたくさんある(どれも大事) ・しかし予算には限りがありどれを推し進めるかはメリット・デメリットや先のことを見通して総合的に考える必要あり ・行政で行うことも大事だが、市民一人一人の心がけて解決できそうな部分もある
○	・どれをとっても1つ1つが大事なことで中止することは難しい ・1つの事業だけを取り上げないで、周辺の事業に関連して予算を作ることが大事と思う
◎	・人口が減り、税収が少なくなるという悪いループの中に入っていると思う。 その中でいかにお金をかけずに酒田を盛り上げるかが大切だと思った。 ・今回のゲームでよりわかりやすく現状を知ることができた
◎	・新しい建物<市民との連携、若者の支援 ・どれも大事な項目だが、将来を考えて取捨しなければならない ・市民一人一人の関心・協力が必要

まちづくりゲームで ・感じたこと ・気付いたこと ・学んだこと ・大事にしたいキーワード
 などを書き留めて「まとめ」にしましょう (○…一般、◎…学生)

○	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止する事業の選択そのものも、廃止した理由を説明するのも難しかった ・お金（財政）と事業（政策）はいずれか一方ではなく広い視野で考えなければならぬと思った
◎	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた中で廃止することの難しさが分かった ・廃止することで大変な思いをする人もいることを考慮しなければならない ・ゲームでなく、実際に廃止するとなったらこれを廃止するというものが無かった
○	<ul style="list-style-type: none"> ・お金には限りがある…いろいろな人がいるから市民全員が大満足はまず無い ・やめるとしても代わりの案、知恵と工夫と知識が必要（いろいろな考えを持っている人との話し合いで膨らむかも）
○	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく話し合いができた ・実生活の悩みも出した予算内でやりくりを
◎	<ul style="list-style-type: none"> ・民間バスの維持など、まちに残しておきたいものを残すためには事業を何か切り捨てなければならないので優先順位をつけて決めるのが大変だった
○	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた予算の中で要望の中から優先順位をつける難しさが理解できた ・現状の生活を守るのに精一杯で、前向きに攻めるための予算が無い ・「税収を上げる」という点がゲームに無かった ・「まちづくり」は大変。市職員はすごい
◎	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を廃止するのは大変。少ないお金でやりくりする難しさを感じた ・他のグループを見ると考え方がちがくて個性が出る ・目的（こうなりたい）を初めに設定して、もう一回やってみたい
○	<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナル政策メニューを出せば良かった。白紙のものを ・市民生活には重要な事業がたくさんあるが、財源内で収めるにはどうしても切り捨てなくてはならないものがある ・苦渋の選択をしなければならないことが多くあると気付いた ・要望：BGMがうるさく感じたことがあった。人が話すときは低くすると良いのでは
○	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化の中で社会保障費の増加に対する取組み方の学習ゲームだと思った ・決して無理な借入れをせず従来のやってきたことの見直しを優先してやる ・必要のないものは民間委託したり経費削減すべき ・無借金と見直しの優先順位
○	<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲット、柱を明確に ・長期的な視点での施策が必要 ・まちづくりって難しい ・庄内地域に住み続けたい
◎	<ul style="list-style-type: none"> ・どの事業も必要なものが大半だと思った ・市民が暮らしやすい町が大切だと感じた
○	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての世代が満足するまちづくりは難しい ・将来の世代に負担を残してはならない（残すのであれば返せるような未来にする必要あり）
◎	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を廃止するのは困難でなかなか自分の思うような意見を言うのは大変だった ・必要な理由を明確にしないと納得してもらえない ・行政について学んでいかないと現状がわからない
○	<ul style="list-style-type: none"> ・市の財政を真剣に皆さん考えているし、全ての市民に心を配っていることを学んだ
◎	<ul style="list-style-type: none"> ・借金をしないようにするには町の何かを無くさなくてはいけない。その決断は簡単ではなかった
◎	<ul style="list-style-type: none"> ・無くす。→組み合わせる ・事業→成果→事業 ・人へ支援 or 物へ支援
○	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を継続するうえでも内容の見直しは必要 ・採算取れるかどうかの将来性が大事
○	<ul style="list-style-type: none"> ・優先順位と代替案の重要性 ・人への投資と地域資源の活用の大切さ
○	<ul style="list-style-type: none"> ・町の将来を考えたことが無かったので10年先が楽しみになってきました ・人間の現在の年齢によって重要な事の優先順位が変わる事を認識した
◎	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の授業では考えることができない体験でとても楽しかったです ・グループの人は若い世代のために考えてくれて嬉しく思いました ・5年後、10年後には移住者が増えたときに今回の政策が役に立つといいです
○	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化の中でやっぱり若い世代を育てていくことが市を変える1つの方法であると感じた ・酒田への移住・定住者が増えることで働き手が増え、人口増加にもつながるので、この政策は良いと思いました
○	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の世代のための取組みを手厚くすることで住み続けたい、住んでみたいさけ田市になるように心がけた
○	<ul style="list-style-type: none"> ・将来、どんな町になっていると住みやすいのかを意識して優先をつけて取り組むことが大切 ・人が集まる町
○	<ul style="list-style-type: none"> ・事業廃止の取捨選択は難しかった。要らないと判断したのに悩んだりした ・酒田に必要なものが多いこと ・班のメンバーの組み合わせが良かった。特に酒田以外からの移住者の意見が参考になった。若い人の意見もハキハキ言ってくれるので良かった

まちづくりゲームで ・感じたこと ・気付いたこと ・学んだこと ・大事にしたいキーワード
 などを書き留めて「まとめ」にしましょう (○…一般、◎…学生)

○ ・予算編成の難しさ (利害関係の調整、世代毎の意識の違い、収益性の見通し)

◎ ・全て必要に思えるものばかりで選ぶのが難しかった
 ◎ ・若者や高齢者などたくさんの方が住みやすい街になればいいと思う
 ◎ ・ぜひこれからも酒田のまちづくりに参加していきたいし、私達がつくらなければと思った

◎ ・事業を廃止するときに考える人の年齢や、どこに重点を置くのかで、考え方や将来像がかなり違った
 ◎ ・今の事業も (現実と照らし合わせると) 何かをカットしたり廃止してできているから、もっと大切にして酒田をよくしたいと思った

○ ・まちづくりの過程をゲームを通じて考えることができ、市政について考えるきっかけになったので良かった
 ○ ・事業の取捨選択が難しかったけど、対話を重ねて良い計画案ができた

○ ・市政の場には若い人の意見の必要性を感じた
 ○ ・お互いが納得することの大切さを学んだ
 ○ ・「対話」「耳を澄ます」こと

○ ・あらかじめコンセプトを設定すれば判断しやすいかも! ? (例) 稼げる町、農業の町、未来へ投資する町

○ ・財源が減っていく時代、事業の優先順位をつけるのは大変である
 ○ ・人口減をどうするか

○ ・事業カードを切るときに、なぜやめるのかの説明が難しかった
 ○ ・人に共感してもらう難しさ
 ○ ・自分の中で何が大事かを話すのも大切
 ○ ・さまざまな人の意見が聞けて楽しかった

◎ ・市民のことを考えて決めることは難しい

○ ・財源を積極的に増やす施策も考えたい
 ○ ・どういう町にしたいか、最初から設定しないと事業の判断が難しい (お金無いから)

◎ ・何かをやめればまた別の事業に生じてくることなど、リアルな面があって深く考えることができ良かった
 ◎ ・さけ田の課題はやはり観光

○ ・時間が足りない位、活発に話し合いができた (選択が難しい)
 ○ ・市民の事を考えてどのようにしたらいいかということを考えさせられた (メリット・デメリットを考えるのが大変)
 ○ ・周りと協力していけば沢山のことができると思った

○ ・費用対効果
 ○ ・市役所に頼るだけでなく、民間企業も自ら面白いアイデアを出して自助努力する! 共働する!

○ ・議論の時間が足りない
 ○ ・代替案が難しい
 ○ ・箱物の整備は慎重に
 ○ ・コミュニティは大切

○ ・単なる削減議論に集約するよりも改善策など建設的議論を生み出せるシミュレーションを希望
 ○ ・縦割りの見方でなく、各分野の掛算による予算執行の効率化も必要ではないだろうか
 ○ ・次世代の可能性を高めるための政策を重視
 ○ ・自助努力で民力がUP
 ○ ・観光振興部長も必要

○ ・何かを残そうとするとひとつを切り捨てる必要 →始める、やめるための想像力
 ○ ・自分達で可能なことを見つける →自主性

○ ・人それぞれの考え方の違い
 ○ ・合理的な理由付け必要
 ○ ・話し合うこと必要
 ○ ・決断すること、選択の判断の難しさ

◎ ・事業に対し、デメリット、メリットを考えて廃止するかしないか考えることの難しさ
 ◎ ・事業に対して考え方がそれぞれ違うこと
 ◎ ・第1回、第2回とは違った話すことの難しさ

○ ・「酒田に住みたい!」 (住んでいたい) と思えるまちづくり (人それぞれ願いが違うので大変ですけど)

○ ・仮のまちと現実がオーバーラップしてちょっと悩んでしまった
 ○ ・酒田への想いをあまり言えない人もいる。時間配分は厳しかった
 ○ ・様々な立場と視点があるのは貴重
 ○ ・「自助・共助」という言葉は出なかったが・・・根底にあるように感じた
 ○ ・「将来性」をどう考えるか、立場によってかなり違う

○ ・事業 (方向性) を選択 (合意形成) することの難しさ

◎ ・まず自分が地元について全く知らないんだなということを痛感しました
 ◎ ・港は全国どこにでもあるわけではなく、観光客を呼び込むための投資の手段としては充分に見込めるのだなと思いました。
 ◎ そんなに港のことを考えていなかったので自分は勉強不足だと感じました

○ ・お金の動き・使い方の重要性をどこに置くのか
 ○ ・家庭や事業をどうしたいのか

まちづくりゲームで ・感じたこと ・気付いたこと ・学んだこと ・大事にしたいキーワード などを書き留めて「まとめ」にしましょう (○…一般、◎…学生)	
○	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的にかかる費用と初期投資の違い ・地域内でお金が回ることと、出して終わりの違い ・人口の減少と交流人口の増加への取組み ・市民の自助努力
○	<ul style="list-style-type: none"> ・シミュレーションゲームを通じて、抱えている問題の多さにびっくりしました。どれも甲乙つけ難く、迷いの多い選択でした ・市職員の皆様のご苦勞を計り知ることができ、大きな決断力と実行力無くしてはさけ田市の発展につなげていけないのではないかと改めて気付かされた思いでした
○	<ul style="list-style-type: none"> ・自分達で行動しないと全ての事業を市でやるのは無理 ・税収を先に上げないと生活は向上しない ・①安全な生活維持のための事業②必要な先行投資事業③切れる事業 に分けることが大事
○	<ul style="list-style-type: none"> ・苦渋の選択 ・難しかった ・未来
◎	<ul style="list-style-type: none"> ・1つの事業を続けるためには妥協が必要になることがわかった ・人のための町づくり
○	<ul style="list-style-type: none"> ・予算編成・説得力のある話し方の難しさ ・事業を削ることの判断のつらさ ・自分の部と全体の整合性のとり方 ・ミクロとマクロの見方
○	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して暮らすことができる (健康・仕事) ・外へのアピール ・悩みました
◎	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちができることを市にやってもらっている部分も多いかもしれないということ →市民の自活力がどうなのか ・普通に暮らすことに意外とお金がかかる。市に頼らなければならないことも多い
○	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費支援の多方面に渡っていること ・組織の縦割りで事業を行っており、総合見直しが必要と思われる (事業内容の見直し) ・人口増対策 官民一体となった運営が必要
○	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の選択が難しい ・どのような「まち」にしたいのかという方針が大事 ・人口減少が進めばさらに厳しくなる。しかし、若い人にとって魅力のある「まち」にしなければならない
○	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の取捨選択→廃止したときの影響設定、代替案 ・ラウンドを通しての将来を見据えた考え ・キーワード 交流
○	<ul style="list-style-type: none"> ・さけ田市を特徴のある町にしようとしたが、普通の町になってしまった

あなたが、これからの酒田市にとって、一番大切にしたいことは何ですか（○…一般、◎…学生）
○ 「人」 人が輝くつながり 多世代の価値観の違いを強みに 対話によって引き出す モノ・カネ・情報、最後はやっぱり人
◎ 「人」中心のまちづくりを！
○ 老若男女が住みやすい「何となく幸せ」感がある酒田
○ 市民の一人として市政に参加すること 市民の声を聞き放しにしない、しっかり取り上げる市政
○ その人、その人の「楽しさ」を選択できる町
◎ 市民全員が住みやすく若者も地元の事業に積極的になっていくこと →持続可能な社会（まち）をつくっていく
○ 人口を増やすこと 皆が楽しく1日を過ごすことが出来る
○ 持続可能な未来志向のまちづくりをしていきたい！ （例：収入確保、人口流出緩和、定住化）
○ 人と財源の確保で未来を継ぐ
◎ 「人の流れをつくる」 移住・定住による人の流れや観光客の人の流れによって活発になれば良いと感じた
◎ 市民の安全・暮らしやすさ
○ 人材（コミュニケーション・人づくり）
○ ゆとりのある市民生活
○ 住みやすいと思える環境への支援
○ 教育 人づくり
◎ “人がにぎわう”町づくり
◎ 酒田市に来る人、住んでいる人にとって「便利だ、素敵だ」と感じられる町でありたい
○ 子育てや高齢者のいきいきしたまちなど人と人が関わり合うことを重視したまちづくり
○ 私の生まれ育った故郷としての歴史をふまえた生き生きとした都市
○ 生活者にとって「易しい町」でありたい
◎ 幸せに暮らせる市 コミュニティバスが無くても、体育館が無くても、お金をかけずに幸せになれる代替案を！
○ “対話”と“相談”の重要性
○ 納得度の高いビジョン 先を見据えたまちづくり
◎ 人々のつながりや協力で酒田を元気にしていく
◎ 市民（企業）との連携（酒田みんなで作る、市が管理しているものを民間へ、ボランティアなどの拡大）
○ 住み続けたい、あるいは戻ってきたいと思えるまちであり続けること（漠然としてますが…）
◎ 活気があり市民が触れ合う機会が多い町であること 地域の良い所を伸ばしていく
○ 住んでいる人たちの健康←心・気持ちを含めて（外からの人とか観光よりもまずは）
○ 人の動き
◎ 酒田に観光に来てもらい、魅力を感じ、長くいてもらう（定住）こと
○ 酒田が一番！という気持ち

あなたが、これからの酒田市にとって、一番大切にしたいことは何ですか（○…一般、◎…学生）
◎ 違う立場の人と交流できる場があること
○ 近隣市町村とのかかわりが見えない政策ばかりだったので、逆に近隣市町村との連携も大切に重要視してほしいと願います
○ ・個人の生きがい、健康・生活満足度の向上 ・来て良かった街より住んで良かった街へ
○ 市民の笑顔
◎ 安心して暮らせる町
○ 全ての世代が楽しく暮らせる街（を目指す）
◎ 住民の意見
○ 働く場の創出
◎ 市民と文化
◎ 市民のためと事業の採算のバランス
○ 先の事（将来）を考えて行動
○ 住みやすさ これからずっと長くここで住んでいけるかどうか
○ 酒田市民がここに住んで良かったと感じられることだと思います
◎ 若い世代が集まりやすい町
○ 若い世代の育成と町の連携
○ 行政・企業・市民が一緒になってやっていく
○ 人が集まる町
○ 次世代を担う人材の発掘・育成
○ 若い方の視点を大切にしまちづくり
◎ 人（酒田市民も観光客なども含めて）
◎ 多くの視点をもって将来どうしていきたいのか考えながら話し合うこと
○ 多世代が集い地域のことを考える「場」
○ 稼ぐこと（収益性のある事業、将来税収アップになりえる事業）
○ 生活するうえで最低限は維持して欲しい
○ 「住」 このまちに住んで良かった、住みたいと思えるまちづくり
◎ みんなが住みやすいところ
○ 行政と市民の共働のまちづくり
◎ 次の世代
○ 人とのつながり
○ 人とのつながり
○ コミュニティ（人とのつながり）

あなたが、これからの酒田市にとって、一番大切にしたいことは何ですか（○…一般、◎…学生）

- 未来を創る中心的存在となる若い世代が当事者として必要とされているというメッセージが確実に伝わる街であること
- 対話できる場所・機会
- 住みよい町づくり
- 今の世代だけでなく、次の世代に「つなげて」いくこと
どの世代、分野でも言えるはず…
- 市民と行政が情報を共有（公開）すること！
- 市民同士の協力・助け合い
- 観光・若い人の考え
- 人がたくさんやってくる事
- ・文化の継承（衣食住）
・団結心
- にぎわいのある街づくり
- にぎわい
- 人々が楽しんで住める町
- 人の交流
- 人と人とのつながり
- 市民が自分たちで行動を起こせる町
- 対話・議論
- 住みやすい酒田市
- 地域の資源の魅力
- 花火大会